



IMAGINE
ROTARY

Rotary
RID2780



Rotary International District 2780

ガバナー月信

2023年
4月号 No.10

取り戻そう! 記憶に残る年にしよう!

IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY



平塚RC 第70回湘南ひらつか七夕まつりにて



大磯RC 姉妹クラブ2600地区：小諸RCとの合同支援活動



平塚北RC 三遊亭わん丈さんによる出前寄席



二宮RC 二宮町立山西小学校へ鳥小屋寄贈



平塚西RC 少年野球 メダル授与



平塚湘南RC 高山中央RC交流会

IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY IMAGINE ROTARY

2022-23年度国際ロータリー第2780地区ガバナー

佐藤 祐一郎

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2022～23年度ガバナー

佐藤 祐一郎

(津久井中央RC)



桜咲く季節となりました。地区チーム研修セミナー、PETSも開催され、4月の地区研修・協議会によって次年度準備は大詰めを迎えます。

さりながらまだまだ地区委員会、そしてクラブでも本年度の事業が終わった訳ではありません。「取り戻そう!」「記憶に残る年にしよう!」皆さんのクラブの目標達成状況はいかがでしょう。

社会国際奉仕委員会では、各クラブの奉仕活動を支援するためのリソースネットワークを構築しようとしています。クラブ管理運営委員会では、「よろず掲示板」に続き、ロータリーの情報をいち早く入手できるMy Rotary登録の推進やクラブの親睦活動に力を注いでいます。会員増強委員会は、新会員の親睦や情報交換に努めています。青少年奉仕部門も、次年度に向けてさらに変化に適応できるようプログラムの見直しを進めています。R財団においては、本年度財団補助金を使った事業の特別追加募集に3クラブの応募がありました。米山奨学委員会は、8月つくばで開催の世界大会に向けて、学友会の結束をはかっています。地区委員会の活動も、まだまだこれからなのです。

「ロイター板」というのをご存知でしょうか。私の年代ですと固定式の「踏切り板」でしたが、最近ではスプリング効果がある「ロイター板」が、学校の体育授業にも使われているようです。本年度青少年奉仕委員長が『委員会は青少年に

とってのロイター板だ』と力説していますが、残り3ヶ月、是非次年度のロイター板になりたいものです。

ここ3年余り、コロナの影響でなかなか思うような活動ができなかったり、会員数も増えない状況が続いたクラブが多かったのではないのでしょうか。本年度も『またできなかった』で終わりますか? 少しでも前進し、やり残したことを完遂し、一人でも会員を増やすことによって、次への展望が開け、希望が湧き、モチベーションがアップするのではないかと思います。次年度さらに飛躍するためのロイター板になりましょう。

ところで、ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、「環境」という新たな重点分野を追加しました。そして、本年度より4月は「環境月間」となりました。過去5年間で、財団グローバル補助金の1,800万ドル以上が環境関連のプロジェクトに充てられ、世界中の各地域に好ましい変化をもたらし、大きなインパクトを生み出す一助になることが期待されています。

環境問題こそ、一人一人の心がけや努力の積み重ねによって改善が進む分野であり、まさにロータリーにうってつけのテーマなのではないかと思います。皆さんの活動のヒントになればと願っております。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
R財団奨学生帰国報告会について	3
第2回新会員の集い報告	4

米山奨学生・奨学金終了式を迎えて	5
地区チーム研修セミナー報告	6
ROTEX本格始動	7
クラブ紹介(第8グループ)	8
新会員紹介 他	11

『R財団奨学生帰国報告会について』

第2780地区学友会 代表幹事 **遠藤 拓海**

今年度、第2780地区学友会代表幹事の遠藤拓海です。日頃から奨学生及び学友会の活動をご支援くださりありがとうございます。2月18日に財団奨学生として海外で学ばれ、帰国された2名の学友を招き、帰国報告会が行われました。以下当日発表をされた2名の学友からコメントを寄せていただいたのでご紹介します。



《岡本 夏生さん》 2020-21年度ロータリー奨学生
海老名RC推薦 留学先:パリ政治学院

パリ政治学院での留学は、学業だけでなく、人間としても大きく成長することができた経験でした。

大学時代には、アメリカや日本で難民支援のインターンシップを経験し、脆弱な立場にある人々を守ることができる国際人権法や国際人道法を学ぶ必要性を感じていました。大学院では、難民、紛争、テロを中心にしたこれらの国際法を専門に学び、授業では国家や地域の政策・慣行の分析・国際法違反の可能性の特定などを行いました。大学院での授業と在学中のNPOでのリサーチインターンシップを通して、国際法に関する確かな知識を身につけ、自分自身で国際法を使えるという武器を得ることができました。

この大学院留学では自分自身と向き合う期間でもありました。留學生活はコロナウイルスの影響で期待していた留学のイメージとは異なり、日本とは異なる授業スタイルや課題の多さに戸惑うことも多々ありました。その結果、無力感や劣等感、自信喪失といったネガティブな感情とも向き合わなければなりません。心身ともに限界を迎えそうになった時に、ロータリーの皆さんやクラスメイト、ホストファミリーに話を聞いてもらい、助言をいただき、こうした辛い日々を乗り越えることができました。この経験によって、助けを求めることの大切さに気づき、自分の弱さを理解し、人間として成長することができました。

こうした学びはパリ政治学院での留学をしたから得られたものであったと考えています。今後はこの学びをキャリアだけでなく私生活でも活かしていきたいと、ロータリーと共に世界平和に貢献していきたいと考えています。ご支援ありがとうございました。



《小林 拓海さん》 2021-22年度ロータリー奨学生
海老名RC推薦 留学先:キングス・カレッジ・ロンドン

大学院のコース名は国際紛争研究と言います。授業や修士論文の執筆を通して、国際紛争を多方面から、そして時には理論的な観点から学んでおりました。コースには学生と教授陣いずれにも様々な経歴を持った方々があり、省庁や軍といった紛争にも大きく携わる仕事を經て教鞭をとっている方も多くいました。

こうした環境下で、自分自身も今まで持つことのできなかった視点を獲得し、紛争に関してより包括的な理解をすることができたのではないかと考えております。

修士論文では、ミャンマーにおける民主化の挫折について扱い、軍部が民主化に同意した背景と民主化プロセス開始後に明らかになったアウンサン・スーチー率いる民主化勢力との軋轢を描きました。現地ではコースや寮の友人だけではなく、ロータリアンの方々や同じ奨学生などと幅広い交流を持つことができました。Erith Rotary Clubというロンドンの東部を拠点とするロータリークラブの方々には特別にお世話になり、定期的にイベントにご招待いただいたり、ウクライナ侵攻といった現代の諸問題に関して議論をさせていただいたりと本当に温かく受け入れていただきました。他の奨学生とは一昨年10月に行われた世界ポリオデーのイベントでの交流をきっかけに仲が深まり、お互いの学びや近況についての共有を定期的にするとともに、感謝祭のパーティーやウェールズへの旅行など様々な思い出も作るできました。

本年4月から新聞社の記者として働くことが決まりました。まだ配属等は決まっておりませんが、いずれは国際政治などのお仕事を担当し、今回留学でさせていただいた経験を還元することができればと考えております。そして何より、プロパガンダの授業などで学んだメディアと紛争の関係性にも留意し、情報を正確に、かつ多角的な視座から発信することに努めたいです。



『第2回新会員の集い報告』

地区クラブ管理運営委員会
親睦担当副委員長 **細川 康治**
(大和PC)



2月18日、本年度2回目の新会員の集いを藤沢ミナパークで行いました。

新会員の皆様は自クラブ以外の会員の方と交流する機会がほとんどないため、本年度新会員の集いは例年と違い、同じグループや他のグループの会員の方々との横のつながりを作っていたきたい、という思いで2回行いました。講話は、佐藤ガバナーにお願いしました。出席いただいた新会員の方々からは、ロータリーについてしっかり学ぶことができた大変好評でした。

その後の懇親会では、前回出席いただいた方にはできる限り同じメンバーになるようテーブル分けを行いましたので、再会を喜んだり、また新しい会員の方々との新たな交流を持っていただいたりと、意義のある会が行えたのでは、と感じています。

当日辻委員長が急遽ご欠席となってしまいましたが、委員会の皆様の協力、また、ガバナー補佐の皆様のご協力のおかげで無事に終了できました。本当にありがとうございました。



『米山奨学生・奨学金終了式を迎えて』

～母国と日本の懸け橋を目指して、これからが本番～

地区米山奨学委員会 委員長 **三 荒 弘 道**
(平塚RC)



去る2月19日日曜日、相澤第1ビルにて2022年度米山奨学生奨学金終了式が開催されました。2022年度米山奨学生の皆様、奨学生期間終了を迎えた皆さんに心からお祝い申し上げますとともに、お世話をいただきました地区内各世話クラブ会長、カウンセラーをはじめと致します関係者各位に厚く御礼申し上げます。

今年度は、ウィズコロナウィルスを念頭に置き、継続生を含め34名の奨学生と感染防止を万全にする中で、出来る限り対面にて活動して参りました。

2022年4月10日の2022年新奨学生オリエンテーションから米山の諸活動は始まりました。各世話クラブカウンセラーと初顔合わせをし、緊張の中でオリエンテーションを努めていた姿を思い出します。5月8日の「米山学友会第2回同窓会」では新奨学生も多く参加頂き、鎌倉大本山 光明寺にて、テーブルディスカッション・寺院内見学、最後は名物である精進料理を堪能し、交流を深めることができました。8月にはZOOM開催「米山学友会による新奨学生への卓話指導」では先輩学友のお手本卓話を聞いていただいた後、多くの質疑を頂戴し、意欲ある姿を拝察いたしました。10月米山月間では世話クラブを中心に卓話スピーカーを務めて頂きました。10月16日の地区大会では午前中「新世代交流会」に参加、午後から米山お茶ブースを出展し、ロータリアン・ローターアクト・ローテックス・インターアクトの皆様と深い交流がはかれました。11月5日にはコロナ禍で開催できなかった「米山クリーンキャンペーン・海岸清掃奉仕」を3年ぶりに開催することができ、世話クラブカウンセラーの皆様とともに平塚海岸の清掃、乗船からの烏帽子岩を眺め、米山ソング「世界の懸け橋」も練習いたしました。11月26日には東京芝大本山増上寺にて「米山研修日帰り旅行」を開催し、今回は岩澤委員長率いる会員増強委員会のご協力の元「新会員交流会」との共同開催となり、委員会メンバーを含めると、出席者が総勢100名近くに及ぶ開催となりました。ロータリー米山記念奨学会への訪問の後、東京芝大本山増上寺参拝見学、ロー

タリー米山記念奨学会柚木事務局長をお招きし「米山記念奨学金制度の説明」、2660地区坂田米山奨学委員会委員長をお招きし「メンター制度について」の研修、再会IN関東（米山学友世界大会）朴実行委員長をお招きし「再会IN関東について」研鑽を積みました。屋形船での懇親会は大いに交流をはかることができました。12月3日には「地区内米山指定校教諭との懇談会」を開催し、米山奨学生担当の先生方と貴重な情報交換をさせて頂きました。

米山奨学委員会では、米山奨学生の熱き思い「皆で会いたい」という希望にこたえる為にもZOOM開催等のオンラインを駆使しながら努力を重ねて参りました。「米山奨学委員会は米山の学生達に常に寄り添う」を合言葉に、学生達の気持ちを第1に考え行動してまいりました。

また、各世話クラブからも来日出来ない学生、帰国出来ない学生等様々な問題が上がった1年ではありましたが、世話クラブのカウンセラーのお力添えを賜り、大きなトラブルを回避でき、学生にとっても有意義な奨学生期間になったと思います。

奨学期間終了後は、更なる学業に励む方、日本にて就職する方、母国に帰る方等、進む道は様々ですが、奨学期間終了生は全て米山学友生となり、これからもロータリーとの関係を深めて頂くこととなります。是非今後も米山学友生として活動に努めて頂きたく存じます。今後も第2780地区事業に積極的な参画をお願いすると共に、後輩となる新米山奨学生へのアドバイス等を通じてお付き合い頂きたく存じます。

世話クラブ会長・カウンセラーの皆様、1年間大変お世話になりました。

奨学金終了生の皆様これからが本番です！米山学友として今後も活動頂く中で、米山奨学期間終了生（卒業生）の皆様には米山奨学金の意義を忘れる事なく、母国と日本の架け橋となり活躍頂きます事を心よりご期待申し上げ、米山奨学生・奨学金終了式開催報告とさせていただきます。

〈ロータリー米山の輪を広げよう〉



『地区チーム研修セミナー報告』

地区研修委員会

 地区チーム研修セミナー担当 **田 邊 一 三**
 (横須賀RC)


2023年2月25日(土) コロナ感染症も一段落、マスクは着用しながらもほぼ3年前と同様、田中賢三研修委員会委員長主催のもと藤沢相澤ビルにて次年度に向けた地区チーム研修セミナーが開催されました。

田島敏久ガバナーエレクトはじめ、佐藤ガバナー、佐々木ノミニー、松下ノミニー・デジゲネイト、次年度ガバナー補佐・委員長・幹事・副幹事などの皆様に参加され総勢約70名での開催となりました。

まず全体会議では田島敏久ガバナーエレクトより次年度のRI会長ゴードンR.マッキナリー氏が「継続」と「変化」の重要性と「平和」と「希望」について熱く語られ、2023~2024年度のテーマとして「世界に希望を生み出そう」「CREATE HOPE in the WORLD」が発表された旨、報告がありました。



それを受け田島敏久ガバナーエレクトは「ロータリーの活動の原点はクラブにあること」「和を以て貴しとなす精神」で例会が楽しく運営され会員維持増強に努めたいとして9つの目標・テーマを地区方針として示されました。

昼食後での基調講演では地区研修委員会委員長田中賢三パストガバナーによる「地区役員の役割と責務」についての講演が行われました。

つづいて地区戦略計画委員会委員長田島透パストガバナーより「地区戦略計画と地区ビジョン」についての講演がありました。

分科会では4部門に分かれて実施、「RIのテーマ・地区方針について」および「地区役員間の協力にについて」活発なディスカッションが行われ充実した時間を持つことができました。最後にアンケートにご協力をいただき研修セミナーもスムーズに進み予定より若干早めに終了することができました。

ご協力をいただきました、パストガバナーの皆様方、地区研修委員会の皆様方、地区幹事・副幹事の皆様方そして研修を受けられた次年度のAGと各委員会の委員長の皆様に衷心より感謝申し上げます。

尚、当日の田島ガバナーエレクトのパワーポイント資料は動画を除いて参加者に後日地区事務局より配信しましたのでご活用下さい。



『ROTEX 本格始動』

2022～23 ROTEX 会長 藤原 あゆ

日頃より青少年交換プログラムにご理解を頂きありがとうございます。

"ROTEX"とは青少年交換プログラム(RYE)において、派遣生の帰国後の総称です。主に各国に派遣される候補生(アウトバウンド)、各国からやってきた来日学生(インバウンド)を自らの留学経験を活かしてサポートを行います。

しかしここ3年間はコロナウイルス蔓延により留学生の募集は中止しており、学生のいない中で活動して参りました。私は2021年4月より2年間会長を務めさせていただきました。初年度はいざ会長になったものの、前例のない状況となり右も左もわかりませんでした。

コロナ禍で誰もがこの壁にぶつかったと思いますが、今までのマニュアルは全く役に立たず、新しく制作し手探りでニューノーマルを作らなければなりません。学生もいない、対面で集まることも難しい中で、RYEが再開したときのためにROTEXはなんとしてでも繋ぎ止めなければと奮闘しました。

まず、このコロナの期間は自分たちの「成長の時間」と捉え、RYEで得たことを今後どの様に社会に還元していくか見つけられるような勉強会を企画しました。SDGsをテーマにし、NPO法人湘南ビジョン研究所 理事長 片山清宏氏等を講師にお迎えしました。また、オンラインという場所を問わない状況はインターアクトやローターアクトなど他の青少年プログラムとの横の繋がりを構築する良い機会になりました。

その結果、コロナが収束しはじめた昨年からは様々な行事にお招きいただきました。6月にはチャリティーコンサート Hopeful Harmony の運営を担当させていただき、今年度地区大会では新世代交流会の実行委員として企画を行いました。

11月にはついに3年ぶりの派遣生の選考があり9名の学生が選出されました。12月からは毎月オリエンテーションが開催され、ROTEXも学生のスピーチの指導、2月は茶道教室を行いました。

そして先日2月26日には2022年度ROTEX総会を行いました。役員全員、対面での総会を経験したことが無かった為右往左往しましたが、佐藤ガバナーや青少年交換委員の方々に御参加いただき、無事にハイブリット型で役員の引継ぎを終えることができました。

総会と共に行った研修会ではローターアクト地区幹事 小用悠太氏よりローターアクトについてお話をいただき、その後の懇親会では8月について来日するインバウンドのための日本生活ガイドブック作成を行いました。

私達ROTEXがここまで成長できたのはロータリアンの皆さまのご指導・ご支援のおかげです。誠にありがとうございます。交換プログラムは久しぶりの再開となりますが、新たな習慣を築きつつ学生のサポートを精一杯行ってまいります。今後ともROTEX、RYE学生共にどうぞよろしくお願い致します。



平塚ロータリークラブ

会長 清水 雅 広

「さあ 奉仕の心で 動き出そう」を今年のテーマに掲げる平塚ロータリークラブ。しかし、数年にわたる新型コロナの影響でたくさんの奉仕活動が中止となり、新会員の多くは入会してから一度も事業活動を体験できておりません。

そんな中、今年は会員皆で準備に汗をかきながら、七夕まつり・花火大会・クリスマス例会・企業訪問・マラソン大会と、制約がありながらも実施することができ、ロータリーの親睦活動を肌で感じることができました。

また、今年度は親睦を深めるため情報集会を4回企画し、第3回が終了しました。

ベテラン会員から新会員まで、バランスよく6つのグループに分かれ、テーマに基づいてディスカッションを行います。ここでロータリーを学び、世代を超えた親睦が生まれます。

マジメな話も、脱線した話であっても歴史とともにまた学びになります。

そんな会員同士が、常に笑いと思いやりに溢れる平塚クラブです。



クリスマス夜間例会



企業訪問



平塚市少年少女マラソン大会

大磯ロータリークラブ

会長 瀬戸 亨 一

大磯ロータリークラブは56周年を迎えます。15名の少ない会員数ではありますが、皆が奉仕への同じ志を持っている、そんなクラブであります。

今年度のテーマに掛けて、過去2年半ほど外での活動は出来ていませんでしたが、8月に姉妹クラブ・小諸RCと合同で「姉妹都市スポーツ交流会」にロータリー賞杯を贈呈させて頂き、遠く離れた地域との交流がサッカー少年少女の記憶に残る活動になりました。大人になっても友好関係を継承してくれることでしょうか！

10月に「大磯チャレンジフェスタ」に参加し、「親子体操でスキンシップ、運動を通して豊かな心と体を育んでもらう」をテーマに地域活動をしました。

12月に「大磯まつり」に参加し、大磯中学、国府中学吹奏楽部へ演奏機会を提供、青少年交換留学制度とROTEXの紹介を行い、地域貢献活動と広報が出来ました。

ポリオ募金も今年度は自粛ムードを一変し多くの方に呼び掛けができたので、取り戻せた気がしています。



平塚北ロータリークラブ

会長 相原美紀

創立から52年を迎えた平塚北ロータリークラブですが、コロナ禍によって失われた活動を少しずつですが、取り戻すことができました。例年、行っていたテニス大会やドッチボール大会など青少年への支援、新たに行った自立支援施設への支援、地元の中学3年生を対象とした出前寄席の開催。当クラブが長年、力を入れて取り組んでいる青少年奉仕の活動を再開することかでき子供たちと共に楽しい時間を再び過ごすことができました。今後も笑顔が溢れるような奉仕活動へと繋げていけたらと思います。



また、今年は10数年振りに箱根湯本で1泊の移動例会を開催したり、月1回のイブニング例会を開催したり、バースデーケーキの用意をしたり、コロナ禍によって止まっていた親睦活動もスタートしました。通常の例会は平塚総合公園内にあるレストラン大原で行っており春の桜、秋の紅葉など四季折々の景色がとても素敵な例会会場です。今期もあと少しとなってきましたが、笑顔溢れる活動ができたらと思います。



二宮ロータリークラブ

会長 大岩園子

二宮ロータリークラブは、二宮町・中井町を中心とする小さな町の会員10名の小さなクラブです。しかし会員はとても個性的で決めたことは邁進する、そして現実にする力強いクラブです。



今年度は近隣の小学校の築山に、老朽化した鳥小屋を建て替え、地域の野鳥たちのカービングが新築の鳥小屋に移転しました。この鳥小屋、とても歴史があり二宮野鳥の会から20年ほど前に贈呈され、カービングもその時に贈られたとお聞きしています。

地域の中で地域を繋ぐ、そして小さな町だからこそできる絆。10名の会員の中、3名が女性、パワフルさと、しなやかさで明るい事務局さんの時節の心遣いがさらに花を添えています。

もう一つの自慢。二宮クラブ名物五百円弁当。今時ワンコインで、ご飯に数種類の副菜、皆様いつでも二宮クラブにお越しく下さい。一度、ワンコイン弁当を囲んで楽しく語らいませんか。会員一同、お待ち申し上げます。



平塚西ロータリークラブ

会長 斉藤 宙也

幸い、今年度は、例会は全て対面で行い、ゲスト卓話も何度もしています。一方、例会場からZOOMを接続し、職場等から参加できる選択肢も提供しています。クリスマス会も復活させ、盛況となりました。

2月には、久しぶりにIMを開催しました。学びの時間は、初めて、パネルディスカッション方式を取り入れました。同グループの二宮クラブの大岩会長のコーディネートのもと、実りある学習の場が提供でき、今後の奉仕活動のヒントになったと自負しています。

私自身が、自律神経失調症に悩まされ、思うように活動を主宰できないのですが、関係各位のフォローにより、ロータリーらしさを取り戻しつつあると思います。あと3か月ほど、地元の少年野球支援など頑張っていきたいと思います。



ZOOM使用のハイブリッド例会

平塚湘南ロータリークラブ

会長 小沢 博

1991年1月に創立し、一昨年30周年を迎えた当クラブの会員数は47名。自慢は、会員相互の結束力が強く、和気あいあいと独自の奉仕活動に取り組んできたことです。

2022-23年度は、コロナ禍で中断していた継続事業が再開し、昨年10月は「市民のためのなんでも相談会」、本年2月は高山中央ロータリークラブとの合同例会、3月はフィリピン・シキホール島での「鍵盤ハーモニカコンテスト」などを開催することができました。

このコンテストは、平塚市内の小学校から寄贈された鍵盤ハーモニカを現地の子どもたちに提供し、学校単位でパフォーマンスを競うというものです。

水質改善事業から始まったこの国際奉仕活動は、地区補助金、グローバル補助金をお預かりして実施してきた継続事業であり、フィリピン前大統領からは感謝状をいただいています。

今回も自由曲と課題曲である「イマジン」を演奏しながらダンスを披露する子どもたちの真剣な姿に、会員一同、胸を熱くしました。「取り戻そう! 記憶に残る年にしよう!」というスローガンを実践する活動ができたことに感謝しています。



なんでも相談会



鍵盤ハーモニカコンテスト




米山奨学生卒業

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



なかやま ゆうき
中山 勇気
①三浦
②2023. 02. 01
③カッター業
④二塚 雅則



かみや まこと
神谷 誠
①イノベーションウェルナビ
②2023. 02. 20
③教育
④久野 孝稔



つじ のりこ
辻 典子
①イノベーションウェルナビ
②2023. 02. 23
③教育
④久野 孝稔



ながしま なりと
長島 誠人
①横須賀
②2023. 02. 24
③旅行業
④前田 長生



はぎわら はなえ
萩原 英恵
①横須賀
②2023. 02. 24
③薬局長
④前田 長生



ふじた まきこ
藤田 眞喜子
①大磯
②2023. 03. 01
③執筆業
④新宅 文雄



おおはた けん
大高 顕
①小田原城北
②2023. 03. 07
③建設業
④須藤 公司



まつうら いさお
松浦 功
①藤沢
②2023. 03. 15
③信用金庫
④田中 正明



22-23 新会員's VOICE 第8グループ

今回は、第8グループの新会員さんのインタビューが新着UP！

動画はこちらから。過去の動画も観られます。チャンネル登録・動画への「いいね」もお願いいたします！



地区会員増強委員会
YouTube

<https://youtube.com/channel/UCR2fp4or99NLh-35uFoNdSA>
(地区会員増強委員会チャンネル)

クラブからのお知らせ

◎鎌倉中央ロータリークラブ事務局 連絡先について
3月よりメールのみ (kamakurachuorc@gmail.com) の対応に変更となりました。

◎伊勢原ロータリークラブ例会場移転のお知らせ
例会場：『和膳・照国』改装工事に伴い、5月より例会場を移転いたします。5月10日～6月21日までの通常例会(5/10・17、6/7・14・21)を、天(てん)にて行います。

名称：天(てん) 住所：伊勢原市伊勢原1-11-22 2F
電話：0463-64-2110

※メイクアップの際は、事前にご確認をお願いいたします。

《お問合せ先》

伊勢原ロータリークラブ事務局 ☎0463-92-5777

訃報 ご冥福をお祈り致します



よそならみのる
四十八願 稔 (鎌倉中央)
2022年12月17日逝去 (享年83歳)
2005～06年度 クラブ会長
2007～08年度 クラブ会長
2007～08年度 地区職業奉仕委員長
2010～11年度 ガバナー補佐
ポール・ハリス・フェロー/マルチプルフェロー
大口寄付者/米山功労者 (14回メジャードナー)



いわた ひでまさ
岩田 英政 (津久井中央)
2023年2月26日逝去 (享年66歳)
2022年2月17日 入会

